

解剖訓蒙筋論

七



慶應義塾  
醫學部  
圖書文化



193



k 10-2

F 7  
力-22



Small red text impression below the circular seal.

Small red text impression below the circular seal.

Faint vertical text columns within a blue border, likely bleed-through from the reverse side.





解剖訓蒙卷之七

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著  
日本 文部省出仕副嶋之純譯

筋論

下肢

トロレニウチリス、エキスハ、身体ヲ支撐シ、且ツ運送

スル者ナレハ、上肢ヨリモ巨大且ツ強剛ニシテ、

其筋最モ有力ナリ而シテ、兩膝ノ後方ニ於ケル部

位ヲ腎甲クハツト云ヒ、其中央ニ肛門ノ裂間アリテ

之ヲ左右ニ分チ下方ニ於テハ坐骨下溝ソチブア井

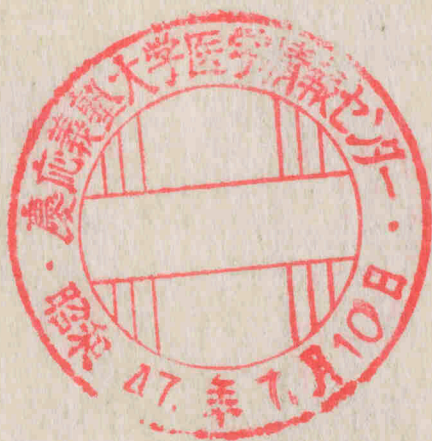
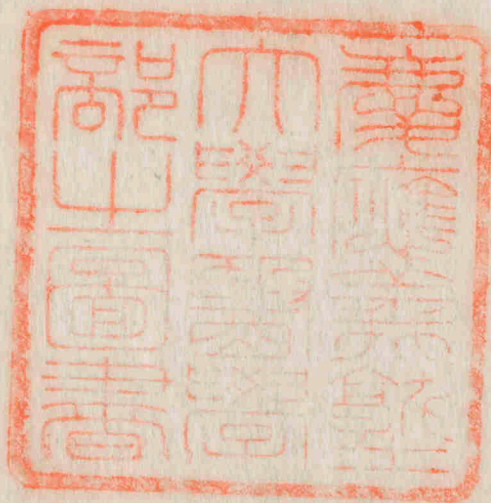
解剖訓蒙

卷之七

491.1  
Ka-3  
7

No. 2393

1910-2



富士川文庫

2453

甲へモル

乙ゼニ

丙ホサホフリテ井

五カルクス

角言言

チダ、ス、グ、ル、ア、リ、以、テ、股、ト、分、隔、ス、其、次、ヲ、**股**甲ト云

ヒ、上、方、ハ、**鼠蹊**井グ、ロ、ニ、テ、分、界、シ、下、方、ハ、逐、次、ニ、狭

小、ス、其、次、ヲ、**膝**井キ、ニ、ト、云、ヒ、後、面、ニ、窩、ア、リ、之、ヲ、**膝**丙

**膈**井ホ、ル、ロ、ニ、ト、云、ヒ、兩、側、ハ、**膝膈帶**井ハ、ム、グ、ス、ト、ニ

テ、分、界、ス、**膝**ヨ、リ、上、即、チ、大、腿、骨、ノ、髌、ト、小、腿、骨、ノ

髌、ニ、テ、**膝**ノ、兩、側、隆、起、シ、而、シ、其、前、面、ニ、突、出、ス、ル

者、ヲ、**膝蓋**井カ、キ、ニ、ト、云、フ、**膝蓋**ノ、下、方、ヲ、**脛**井グ、レ、ト、云

フ、其、後、位、ニ、在、ル、厚、キ、肉、塊、ヲ、**腓**井フ、ト、云、ヒ、下、邊、束

約、シ、テ、ア、キ、リ、ス、**腓**ト、為、リ、**踵**井ヒ、ル、井、ニ、終、リ、茲、ニ、内

外、共、ニ、**一****踝**井ル、ア、ン、ク、ア、リ、是、レ、小、腿、骨、及、ヒ、輔、腿、骨

ノ、髌、ヨ、リ、成、レ、ル、者、ナ、リ、

其、皮、膚、ハ、臀、ニ、於、テ、ハ、厚、ク、然、レ、ヒ、肛、門、ノ、裂、間、ノ

近、圍、ニ、テ、ハ、薄、シ、**股**及、ヒ、**脛**ノ、外、位、ニ、於、テ、ハ、厚、シ

テ、且、ツ、感、覺、魯、鈍、ナ、リ、然、レ、ヒ、其、内、部、ニ、近、通、ス、ル

ニ、於、テ、ハ、薄、シ、テ、且、ツ、擴、張、ス、可、ク、且、ツ、動、搖、ス、可

ク、且、ツ、感、覺、穎、敏、ナ、リ、足、背、ニ、於、テ、ハ、薄、シ、テ、且、ツ

擴、張、ス、可、ク、足、蹠、ニ、於、テ、ハ、厚、ク、且、ツ、擴、張、及、ヒ、動

搖、ス、可、カ、ラ、ス、

下肢莖膜

下肢ノ**表莖膜**井ア、ツ、ル、ス、ル、シ、ヒ、ア、シ、ハ、身、体、ノ、諸、部、ニ、於、ケ

解剖

卷之十

二

ル者ノ如ク、多ハ兩層ニ分界スヘシ、而シテ其内層ハ薄且ツ膜状ニシテ、外層ハ組織粗疎、且ツ多少脂肪ヲ有セリ、

其莢膜、臀ニ於テハ、一般ニ大量ノ脂肪ヲ有シ、股及ヒ脛ニ於テモ、亦タ脂肪ヲ有シ、大轉子及ヒ膝蓋ニ於テハ、之ニ代ルニ關節膜囊ヲ以テシ、蹠ニ於テハ、常ニ脂肪ヲ有シ、且ツ直チニ皮膚ノ組織ニ癒合シ、踵及ヒ第一、第五蹠骨ノ屈折部ニ於テハ、關節膜囊ヲ有セリ、而シテ此莢膜ノ脂肪層ト、膜層トノ中間ニ於テ、表靜脈、及ヒ皮神經通過セリ、

不シア、クリ、フリ、プロサ、

乙、シマ、ヘモリス

鼠蹊、及ヒ尻骨盤ノ脂肪層ハ、腹表莢膜ノ脂肪層ニ連合シ、膜層ハ、<sup>1</sup>ポ一ハルト、<sup>2</sup>韌帶、及ヒ腸骨崙ニ固着ス、母孔ニ於テハ、其近傍ノ皮下脈ニ由テ、穿孔ヲラル、故ニ此部ニテハ、<sup>3</sup>篩状莢膜<sup>4</sup>ル、<sup>5</sup>ム、<sup>6</sup>ス、<sup>7</sup>シリ、<sup>8</sup>ア、<sup>9</sup>ト云フ、

下肢ノ深莢膜<sup>1</sup>ス、<sup>2</sup>チ、<sup>3</sup>井、<sup>4</sup>ア、<sup>5</sup>ハ、<sup>6</sup>上肢ニ於ル者ノ如ク、全

ク下肢ヲ被包シ、其一部延長シテ、諸筋ノ間タニ達シ、且ツ血管ノ室ヲ為ス、蓋シ其部位ニ隨テ、之

ヲ股莢膜、脛莢膜、及ヒ足莢膜ト云フ、

股莢膜<sup>1</sup>ス、<sup>2</sup>ヘ、<sup>3</sup>シ、<sup>4</sup>モ、<sup>5</sup>ラ、<sup>6</sup>ル、<sup>7</sup>ハ、<sup>8</sup>腸骨崙、<sup>9</sup>薦骨ノ後部、<sup>10</sup>尾骶骨ノ



腋上、股脱腸トニ關與シテ、最モ有要ナレハ、殊ニ  
注意セサルヘカラス、且ツ此膜ニテ被包セル筋  
名ニ隨テ、其内部、及ヒ外部ヲ耻線莖膜及ヒ縫匠  
莖膜ト云フ、

耻線莖膜ルヘクシチアアハ、股脈ノ後方ニ於テ、耻線

筋ヲ被包スル者ニシテ、耻骨ノ体、及ヒ其耻線ニ

沿テ固着ス、蓋シ此莖膜ノ縁ハ、大兔筋、及ヒ腸骨

筋ヲ覆ヘル、腸骨莖膜縫匠莖膜ノ後層トニ連合

ス、

縫匠莖膜サルトリアハ、縫匠筋ヲ被包シ、而後チ

スシアサチオヒ  
カ

スシアサレオヘ  
チ子ス

筋蹠ニ於テ、ホトハルト韌帶ニ沿テ固着シ、且ツ  
股脈ノ前方ニ達スルニ於テ、耻骨ヨリ下方ニ  
シチノ處ニテ、耻線莖膜ニ連合セリ、蓋シ此兩着  
點ノ中間ニ於テ、卵圓部アリ、之ヲ母孔サヘノ

グニト稱ス、長母靜脈、爰ニ來リテ、股靜脈ニ結合

スル部ナレハナリ、此母孔ノ外部ハ、此莖膜ノ半

月様縁、所謂鎌状突起ハルシハルニテ、其境界ヲ

標ス、而テ此突起ノ上端ハ、ガシヘルト韌帶ニ

連合シ、下端ハ、耻線莖膜ニ連合ス、母孔ノ内部、及

ヒ底ハ、股脈ノ後方ニ於テ、耻線莖膜ノ内方ヨ

ホッオハリス

プーカハルシホルミス

リ外方ニ沈没スルニ由テ造成スルナリ  
 表莢膜ノ一部即チ母孔ヲ填實スル部ハ近傍ト  
 股脈トノ間ニ通スル數多ノ表小脈爰ニ穿孔ス  
 ルヲ以テ亦タ篩状莢膜クルムガリホト云ヒ、鎌状突  
 突起ニ連合ス而テ此莢膜ヲ除去スルキハ、鎌状突  
 起ノ股脈ヲ覆ヘルヲ視ルヘシ、且ツ其下端及ヒ  
 上端ハ能ク著明ニシテ、其中部ハ稍ヤ不明ナリ  
 脛莢膜クルムガリホト云ヒハ多クハ著明、且ツ能ク強靱ニ  
 シテ、小腿輔腿兩骨ノ頭、小腿骨ノ前内兩緣及ヒ  
 兩髁ニ固着ス、蓋シ縫匠筋、薄股筋、半腱筋及ヒ兩

脛莢膜

頭筋ノ着點ノ臆ヨリ、筋藥ヲ受ケテ、多クハ横織  
 維ヨリ成リ、而テ脛ノ外部ニ於テ、最モ強靱ト爲  
 リテ、諸筋頭ノ起點ノ一部ヲ授ケ、以テ其筋間膜  
 ニ連合ス、脛ノ後部ニ於テハ、最モ薄ク爲リテ、腓  
 ノ表筋ヲ覆ヘル一層ト、表筋ト深筋ノ間ニ在ル  
 一層トニ分界ス、

此莢膜、踝關節ノ近傍ニ於テハ、纖維ヲ副加シテ、  
 愈々強靱ト爲リ、乃チ環状靱帶ヲ造成シ、諸筋ノ腱  
 ヲ脛ヨリ足ニ達スル處ニ於テ屈曲セシム環状  
 靱帶三個アリ以下之ヲ辨説ス、

甲  
リカメンモム、アン  
ニラルアンアリウス

前環状靱帯 甲 アソテリオル、アソ  
ニラル、リガノソト、ハ、  
シテ、踝關節ノ前方ヲ於テ、斜  
ノ前外部ニ達シ、其層中ニ數  
諸腱ヲ含有シ、之ヲ以テ踝關  
故ニ長諸指伸筋ノ腱ハ、輔  
領シ、前小腿骨筋ノ腱ハ、小  
領シ、大趾伸筋ノ腱ハ、中間  
小腿骨脈、及ヒ神經ハ、此靱  
節ノ上方ニ於テ、纖維帶アリ、  
ト、ト云フ、小腿、輔腿兩骨ノ  
ト、ト云フ、小腿、輔腿兩骨ノ  
ト、ト云フ、小腿、輔腿兩骨ノ

甲  
リカメンモム、アン  
ニラルキンテルミ

之ヲ前環状靱帯ノ一部ト做セリ、其他纖維帶アリ、  
リ、外踝ヨリ、前環状靱帯ヲ横行シテ、跗骨ノ内側  
ニ達ス、

内環状靱帯 甲 井ソテ、ルガナル、アソト、ハ、内踝ヨリ、距骨

ノ後部、及ヒ跟骨ノ内側ニ達セル、粗疎ナル纖維  
帶ニシテ、内踝ノ後方ニ於テ、其溝ヲ覆ヒ、以テ管  
ト為シ、後小腿骨筋ノ腱、及ヒ長屈筋ノ腱ノ通路  
ヲ成ス、距骨ノ後跟骨ノ底ニ於テ、亦タ溝ヲ覆ヒ  
以テ管ト為シ、長大趾屈筋ノ腱ノ通路ヲ成ス、此  
兩路ノ間、更ニ後小腿骨脈、及ヒ神經ヲ通過セ

シム薄キ筋葉アリ、表方ニ在テ、此靭帶ヨリ、アキ  
リス腱、及ヒ跟骨ノ結節ニ達ス、

外環状靭帶ハ、前靭帶ニ比スルハ、稍ヤ不明ニシ

テ、亦タ粗疎ナル纖維ヨリ成リ、外踝ヨリ放線シ、

テ、跟骨ノ外部ニ固着シ、而シテ諸補腿骨筋ノ腱ヲ

屈下セシム、

以上三靭帶ノ底下ニ於テ、諸筋ノ腱通過シ、乃チ

脛ヨリ、足ニ達スルヤ、關節膜囊ヲ以テ被包ス、

足背莢膜トシルアサルハ、前環状靭帶ノ薄キ延長部

ナリ、ルヲラシマタハ三部ヨリ成リ、乃チ掌莢

甲  
スシアトルサリス

乙  
スシアフランタリス

膜ノ如シ、而シテ其内外三部ハ、薄クシテ大趾及ヒ

小趾ノ小筋ヲ被包シ、中部ハ、最モ強靭ニシテ、掌

莢膜ノ中部ニ匹敵ス、此莢膜ハ、縱徑ノ分歧纖維

ヨリ成リ、而シテ横徑纖維ヲ以テ、自ラ強靭ニシテ、

三角形ヲ為シ、短諸趾屈筋ヲ被包シテ、其起點ノ

一部ヲ授ク、此三角形ノ尖頭ハ、跟骨ノ結節ニ固

着シ、其基礎ニ、分歧シテ、五個ノ延長部ト為リ、各

再分シテ、蹠骨趾骨靭帶、及ヒ近傍ノ莢靭帶ニ附

着ス、其兩側ハ、此莢膜ノ側部、及ヒ蹠ニ沈没セル

筋間膜ニ連合ス、

莖韌帶 ガハジナトルリ ハ諸趾ノ屈腱ヲ含有ス其装  
置ハ手指ノ莖韌帶ト如シ

諸脛筋

大脛筋 ク、ル、ム、ト、グ、ル、ラ、ハ 斜方形ノ厚塊ニシテ  
粗糙ナル束ヨリ成リ尻骨盤ノ后部ヨリ股ノ上  
外部ニ達ス而シテ腸骨喙ノ後部、薦坐兩骨ノ後面  
及ヒ大薦坐韌帶ヨリ起リ其束外下方ニ進ミテ  
厚キ腱膜ト為リ大腿骨ノ大轉子ヲ越エ股莖膜  
及ヒ大轉子ヨリ粗線ニ達セル中間ノ粗疎面ニ  
附着ス

ムスクルス、グ、ル、テ  
ウ、ス、マ、グ、ニ、ス、

ムスクルス、グ、ル、テ  
ウ、ス、メ、ヂ、ウ、ス、

此筋ノ下端ハ腓肉ノ層ヲ造成シ佇立スレハ坐  
骨ノ結節ヲ藏隠シ坐スレハ之ヲ露出セシム而  
テ此筋其腱ト大轉子トノ間ニ於テ大ナル關節  
膜囊ヲ有シ又タ坐骨ノ結節トノ間タニ於テ關  
節膜囊ヲ有ス

中脛筋 ミ、ツ、ト、ル、ム、ス、グ、ル、テ、ハ 其前部ハ股莖膜ノ厚部

ニ覆ハル後部ハ大脛筋ニ覆ハレテ腸骨喙ト其

上曲線ノ中間即チ其背面及ヒ股莖膜ヨリ起リ

肉束下行シ輻輳シテ短且ツ厚キ腱ト為リ大轉

子ノ外面ニ附着ス而シテ此筋モ亦其腱ト大轉子

ムスクルス、グロテ  
ウス、ミニス

ムスクルス、オボブ  
ラートル、エキステ  
ルニス

ムスクルス、ヒリホ  
ルニス

ノ上部トノ間タニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、  
 小殿筋ハ前筋ニ隠レテ、腸骨ノ  
 上下兩曲線ノ中間、即チ其背面ヨリ起リ、輻輳シ  
 テ、腓ト為リ、大轉子ノ頂ノ内部ニ附着シ、亦チ大  
 轉子ト、腓トノ間ニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、  
 外鎖孔筋ハ前筋ニ隠レテ、腸骨ノ  
 方ニ位シ、鎖孔ノ縁及ヒ其膜ヨリ起リ、輻輳シテ  
 腓ト為リ、大腿骨ノ頸ノ後方ヲ過キテ、轉子窩ニ  
 附着ス、  
 梨子状筋ハ前筋ニ隠レテ、腸骨ノ  
 梨子状筋、ムヒスリホルム、ハ、尻骨盤窩内、薦骨ノ第二

甲  
ムスクルス、オボブ  
ラートル、井ンテ  
ニス

乙  
ムスクルス、ゼ  
ニス

三四片ノ前面及ヒ薦腸兩骨縫合ノ下部ヨリ起  
 リ、大薦坐孔ヲ過キテ、尻骨盤窩ヲ出テ、輻輳シテ  
 圓腓ト為リ、小脛筋ノ底下、即チ大轉子ニ附着ス、  
 内鎖孔筋ハ前筋ニ隠レテ、腸骨ノ  
 内鎖孔ノ縁及ヒ其膜ヨリ起リ、輻輳シテ、腓ト為  
 リ、小薦坐孔ヲ過キテ、轉子窩ニ附着ス、  
 坐骨小截ハ、内鎖孔筋ノ運動スルニ當テ、其腓ノ  
 摩擦スル所ニシテ、纖維軟骨ニテ被覆シ、且ツ關

節膜囊ヲ有シ、件ノ運動ヲ容易ナラシム、  
 雙子筋ハ前筋ニ隠レテ、腸骨ノ  
 雙子筋、ムゼスクリス、ハ、前筋ニ副テ、之ヲ圍繞シタ

甲  
ムスクルス、多ウド  
ラテスヘモリス

ル一對ノ筋束ニシテ、常ニ之ヲ兩個ト做セリ、而  
 ノ坐骨ノ棘、及ヒ其結節ノ後部ヨリ起リ、前筋ノ  
 腱ヲ圍繞セシ、后チ、兩個共ニ轉子窩ニ附着ス、  
 四角股筋 モウラド、ムスト、ハ、坐骨ノ結節ノ外縁  
 ヨリ起リ、外方ニ進ミテ、大轉子ヨリ下行セル、粗  
 線ニ附着ス、  
 以上ノ八筋、中前ノ三筋ハ、其起點ヨリ、緩動スル  
 ト、着點ヨリスルトニ随フテ、或ハ股ヲ外送シ、或  
 ハ外轉シ、或ハ尻骨盤ヲ固定スルニ由テ、軀幹ヲ  
 下肢上ニ安放セシメ、後ノ五筋ハ、股ヲ外轉セシ

乙  
ムスクルス、并リア  
キニス

ムスクルス、并リア  
キニス

乙  
ムスクルス、并リア  
キニス

腸骨莖膜 并リア、ハ、腸骨筋及ヒ兔筋ヲ被包ス  
 ル者ニシテ、自餘ノ横莖膜、骨盤莖膜ヲ為セル、織  
 維膜ノ連續ナリ、而シテ、腰莖膜、弓状靱帶、脊椎柱、腸  
 骨嵴、ポトハルト靱帶、及ヒ耻骨ニ固着シ、且ツ其  
 連續シタル所ノ、二莖膜ト共ニ輻輳シテ、股脈ノ  
 室ヲ造成ス、  
 腸骨及ヒ鼠蹊諸筋

腸骨筋 并リア、ハ、腸骨ノ腸骨窩ヨリ起リ、股弓

二輻輳シ、而ノ股弓下ヲ過キテ、兔筋ト共ニ、大腿骨ノ小轉子ニ附着ス。

ムスクルス、フソア  
ス、マヨル

大兔筋 アクレ、ムスト、プル、ハ 背椎ノ末片、及ヒ腰推、

各片ノ体側其横突起、及ヒ其椎間ノ圓盤ヨリ起リ、尻骨盤ノ縁ニ沿テ、下行シ、股弓下ヲ過テ、腱ト

為リ、而ノ前筋ニ結合シテ、小轉子ノ後部ニ附着ス。

此筋ノ上部一於テ、横膈ノ内弓靱帶アリテ、横行セリ、脊椎柱ニ在ル、起點ニ於テ、諸腱状弓アリテ、

此筋ト腰ノ動靜二脈、及ヒ交感神經ノ吻口纖維

ムスクルス、フソア  
ス、マヨル

トヲ分界セリ、而メ着點ノ腱ト、小轉子トノ間ニ

於テ、關節膜囊ヲ有ス、

ムスクルス、フソア  
ス、ミノル

小免筋 アス、モ、ハ、ス、ル、ツ、ハ 大免筋ノ前方ニ位シ、腰

推、第一二片ノ体、側部ヨリ起リテ、薄腱ト為

リ、以テ尻骨盤ノ縁ニ擴張シテ、腸骨莖膜ニ達シ、

乃チ腸趾隆起ニ結合ス、蓋シ此筋ハ、尋常缺セス

ル者トス、腸骨筋、及ヒ兩免筋ハ、其起點ヲ固點ト

為スト、着點ヲ固點ト為スニ、随フテ、或ハ軀幹、或

ハ下肢ノ前方ニ屈折シ、又々小轉子ヲ引クヲ以

テ、股ヲ外轉ス、而メ臀筋ト共ニ運動スレハ、能ク

甲  
ムスクルス、テンソル  
ハジナ、モラリス

ムスクルス、サル  
リウス

佇立ヲ維持セリ、

股前部ノ諸筋

股莖膜張筋 テモソル、オフ、短且ツ扁平ニシ

テ、股ノ上外部ニ於テ、股莖膜ノ室中ニ位シ、縫匠

筋ト臀筋トノ中間、即チ腸骨ノ前上棘状突起ヨ

リ起リ、大轉子ノ前方ヲ下行シ、其下方ニ於テ、股

莖膜ニ終レリ、

縫匠筋 サルトルウハ、長キ肉帶形ニシテ、腱ヲ以

テ、腸骨ノ前上棘状突起ヨリ起リ、斜メニ股ヲ下

行シテ、膝ニ到リ、又々腱ト為リテ擴張シ、以テ小

ムスクルス、ガラシ  
リス

腿骨結節ノ直下、即チ其内側ニ附着ス、

此筋着點ノ腱ヨリ、又々延長シテ、脛莖膜ニ連合

シ、而シテ其腱ト、薄股筋トノ中間ニ於テ、關節膜囊

ヲ有ス、

此筋ハ、脛ヲシテ股ニ屈折セシメ、尙チ其作用持

タスレハ、脛ヲ牽引シテ、他ノ脛ト交叉セシム、

薄股筋 グストラリス、ハ、薄キ腱膜ヲ以テ、耻骨縫合

ノ縁、及ヒ耻骨ノ下行枝ヨリ起リ、長キ肉帶形ヲ

成シ、股ノ内部ヲ下行シテ、膝ニ到リ、乃チ狹腱ト

為リ、以テ擴張シテ、前筋ノ底下ニ附着ス、亦チ其

ムスクルス、グオウ  
ドリセプス、エキス  
テソル、クリリス、

ムスクルス、レク  
スヘモリス、

腱、小腿骨トノ中間ニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、  
 此筋ハ、股ヲ内送シ、且以テ前筋ノ作用ヲ扶助セリ  
 四頭伸筋 エクスウテシリソルス、ハ、股ノ全前部、及ヒ  
 其側部ヲ填充スル者ニシテ、即チ四頭ノ起點ヲ  
 有セリ、曰ク直頭、外廣頭、内廣頭、及ヒ脚頭是ナリ  
 直頭 ヒレク、ハ、兩個ノ短腱ヲ以テ、腸骨ノ前下棘状  
 突起、及ヒ髌骨ノ縁ヨリ起リ、其肉束翅状腹ヲ成  
 シ、股ノ前方ヲ下行シ、乃チ強韌ニシテ、扁平ナル  
 腱ト為リ、膝ノ直上ニ於テ、他ノ三頭、腱ニ結合  
 ス。蓋シ他ノ三頭ハ、其互ニ結合スルヲ、此頭ニ結

ムスクルス、フス  
井シテルニス、  
ムスクルス、クル  
ウス、

合スルニ比スルハ、最モ親密ニシテ、時トシテハ  
 一筋ト做シ、説明セラル  
 外廣頭 エキス、テルス、ハ、四頭中ノ最モ大ナル者  
 ニシテ、腱膜ヲ以テ、大轉子ノ基礎、及ヒ粗線ノ外  
 端ヨリ起リ、内廣頭 井シテ、ヒレク、ハ、只ダ粗線ノ内  
 端ヨリ起リ、脚頭 リクス、ハ、前兩頭ノ中間、即  
 チ大腿骨ノ前面ヨリ起リ、而シテ、内外兩廣頭ノ肉  
 束ハ、共ニ下前方ニ進ミ、脚頭ノ肉束ハ、直チニ下  
 方ニ進ミ、皆チ結合シテ、一個ノ廣腱ト為リテ、且  
 ツ直頭ノ腱ニ結合シ、以テ膝蓋ノ基礎、其兩側、及

甲  
ムスクルス、アドチ  
子ウス、

其前面ニ附着ス蓋シ膝蓋ノ韌帯ヲ指シテ、四  
頭伸筋ノ腱、連續ト做セハ、則チ四頭伸筋、小  
腿骨ノ結節ニ附着セルナリ、  
此筋ハ、胫ト股ヲシテ、一直線ニ伸長セシム、而  
此筋ヨリ、又々延長セル肉束アリテ、大腿骨ノ下  
部ヨリ、膝関節ノ囊韌帯ニ達シ、乃チ其韌帯ノ位  
置ヲシテ、適宜ニ維持セシム、  
耻骨筋 ル、ムスクルス、ハ、耻骨ノ棘ト、腸耻隆起ト、  
中間即チ耻骨ノ横枝ヨリ起リ、股ノ内側ヲ下行  
シ、小轉子ヨリ粗線ニ達セル線ニ附着ス、

甲  
ムスクルス、アドチ  
ール、ロンクス、

長内送筋 ロクンク、ル、アドハ、腱状ニシテ、前筋ト同シ  
ク、耻骨ノ前方ヨリ起リ、斜メニ下行シテ、大腿骨  
粗線ノ中央ニ附着ス、  
短内送筋 シヨク、ルト、ル、アドハ、前筋ニテ、隠サレ、而シテ  
耻骨ノ体、及ヒ其下行枝ヨリ起リ、斜メニ下行シ  
テ、大腿骨粗線ノ上部ニ附着ス、

乙  
ムスクルス、アドチ  
クトル、ブレビス、

大内送筋 ドク、レ、ト、ル、アドハ、大ナル三角形ニシテ、股  
ノ前部ト、後部トノ中隔ヲ造成セリ、故ニ耻骨ノ  
下行枝坐骨ノ結節、及ヒ其枝ヨリ起リ、外下方ニ  
放線シ、腱ト為リテ、大腿骨ノ粗線ノ全徑ニ附着

丙  
ムスクルス、アドチ  
クトル、マガニス、

下行枝坐骨ノ結節、及ヒ其枝ヨリ起リ、外下方ニ  
放線シ、腱ト為リテ、大腿骨ノ粗線ノ全徑ニ附着

シ且ツ腱條ヲ以テ内髁ニ達ス、  
此筋ハ其下部ニ於テ窠孔シ以テ股脈ノ通路ヲ  
成シ其他腱狀着點ニ於テ數個ノ小孔穿通シ以  
テ動靜二脈ヲ通過セシム、  
以上四筋ハ股ヲシテ尻骨盤ニ屈曲セシメ且ツ  
股ヲ外轉シ且ツ有力ナル内送ノ作用ヲ為セリ

股後部ノ諸筋

兩頭屈筋 レビキソプル フハ長短ノ兩頭ニシテ其長  
頭ハ腱ヲ以テ半腱筋ト共ニ坐骨結節ノ後部ヨ  
リ起リ短頭ハ大腿骨粗線ノ外下部ヨリ起リ共

甲  
ムスクルス、ビセ。フ  
スブンキソル、クル  
リス、

ニ其肉束腱膜ト為リ且ツ束約シテ粗疎ナル腱  
ト為リテ輔腿骨ノ頭ニ附着ス此附着ノ腱ヨリ  
又々兩箇延長シテ、ハ小腿骨ノ頭ニ附着シ、  
ハ脛莖膜ニ連合ス、

半腱筋 レセミテムクチル ハ前筋ノ長頭ト共ニ坐骨  
結節ノ後部ヨリ起リ股ノ内後部ヲ下行シテ大

腿骨ノ殆ト中央ノ下方ニ於テ其肉束長腱ト為  
リ而シテ進テ小腿骨結節ノ下方薄股筋腱ノ着點

ノ底下即チ小腿骨ノ内側ニ附着ス、  
此筋及ヒ薄股縫匠二筋ノ起點ハ尻骨盤中ニ在

ムスクルス、セニテ  
チノ一シス、

甲

ムスクルス、セミム  
ムスラノシユス、

其相去ルヲ、殆ト同度ニシテ、共ニ輻輳シテ、小  
腿骨ノ一局處ニ附着スル者ナリ、故ニ三筋同時  
ニ發動スレハ、脛ヲシテ、他方ノ股ト交叉セシム  
半膜筋セミムスクラハ、前筋ノ内側ニ位シ、廣  
腱ヲ以テ、坐骨結節ノ後部ヨリ起リ、擴張シ、腱膜  
ト為テ、此腱膜ヨリ、短肉腹ヲ生シ、又々進シテ、腱  
膜ト為リ、而シテ束約シタル、絲狀ノ腱ト為リ、以テ  
小腿骨頭ノ内側ニ附着ス、此着點ノ腱ヨリ、又々  
突起ヲ生シ、延長シテ、膝關節ノ囊韌帶ノ後部及  
膝膈筋ノ莢膜ニ到ル、

乙

ムスクルス、チビ  
リス、アンチモス、

以上三筋ハ、皆ナ脛ヲシテ、股ニ屈曲セシム、而シテ  
兩頭屈筋ニ於ル着點ノ腱ヲ、外膝膈帶オウドルハ  
グント云ヒ、他ノ二筋ニ於ル着點ノ腱ヲ、内膝膈帶  
ストリシリ、グムト云ヒ、其兩帶ノ中間ヲ、膝膈  
云フ、

脛ノ前外部及ヒ足ノ上部ノ諸筋

前甲小腿骨筋アンテリス、オクル、チハ、小腿骨ノ外上部

骨間膜及ヒ脛莢膜ヨリ起リ、其腹脛ヲ下行シテ、

扁平ナル腱ト為リ、踝關節ノ環狀韌帶ノ底下ヲ

過キテ、足ノ内側ニ到リ、内楔狀骨及ヒ大趾ノ蹠

甲  
ムスクルス、エキス  
テンソル、ロンクス  
チギトリム、五デス

骨ノ根蒂ニ附着ス此筋ハ、足ヲシテ屈曲セシム、  
長諸趾伸筋ソロ、オグ、エキ、トステ、ン、ハ、小腿骨ノ頭、輔  
腿骨ノ全徑四分ノ三、上方骨間膜、及ヒ脛莖膜ヨ  
リ起リ、其束腱ト為リテ、踝關節ノ環状韌帶ノ底  
下ヲ下行シ、爰ニ於テ、分裂シテ、四個ノ腱ト為リ、  
各、大趾ノ他趾ニ到リテ、其背ニ擴張スル、猶ホ  
指伸筋ノ腱ノ如シ、  
前輔腿骨筋子アアル、ムリオクル、パ、ロ、ハ、前筋ノ下方、即  
チ輔腿骨ヨリ起リ、亦タ腱ト為リテ、環状韌帶ノ  
底下ヲ下行シ、終蹠骨ノ根蒂ニ附着ス此筋ハ、前

乙  
ムスクルス、ペロ子  
ウス、アンチキス、

甲  
ムスクルス、フロフ  
リウス、ポルリシス

乙  
ムスクルス、エキス  
テンソル、ブレビス  
チギトリム、ポルリ  
シス、

小腿骨筋ヲ扶助シテ、足ヲ屈曲セシム、  
大趾伸筋ス、エキ、クス、レ、ン、ト、ル、ハ、前小腿骨筋ト長  
諸趾伸筋トノ中間ニ位シテ、輔腿骨ノ下部、及ヒ  
骨間膜ヨリ起リ、扁平ナル腱ト為テ、踝關節ノ環  
状韌帶ノ底下ヲ過キ、大趾ノ背面ニ擴張シテ、其  
終趾骨ニ附着ス、  
短諸趾伸筋ソル、オト、エキ、ト、ス、ン、ハ、足背ニ位シテ  
跟骨ノ外側、及ヒ踝關節ノ環状韌帶ヨリ起リ、四  
個ノ肉腹ヲ成シテ、各腱ト為リ、進ンテ大趾ト、次  
三趾ト伸腱ニ結合ス、

ムスクルス、ベロ子  
ウス、ロンクス、

長輔腿骨筋 アロル、ムダ、ムクロル子ハ、脛ノ外部ニ位シ、輔  
腿骨ノ上部、其近傍ノ骨間膜、及ヒ脛莖膜ヨリ起  
リ、其腹長腱ト為リ、以テ外踝ノ後方ニ於テ、其溝  
ヲ過キ、后チ跟骨ノ外面ノ溝ニ沿ヒ進ンテ、蹠ニ  
反轉シテ、骰子骨ノ溝ニ到リ、又々斜メニ前内方  
ニ進ミ、卒ニ第一蹠骨ノ根蒂ニ附着ス、此  
此長腱、進行スルニ於テ、方向ヲ變換スルト、二廻  
ナリ、即チ初廻ハ、輔腿骨ノ下端ニ於テシ、再廻ハ、  
骰子骨ニ於テス、而シテ其兩廻點ニ於テ、此腱厚シ  
纖維軟骨性ト為リ、殊ニ骰子骨ニ在ル、廻點ニ於

ムスクルス、ベロ子  
ウス、フレビス、

テハ、常ニヒサム骨ヲ含有セリ、外踝、及ヒ跟骨外  
面ノ兩溝ハ、纖維帶ヲ以テ、管ト變成シ、且ツ關節  
膜嚢ヲ以テ、其裏面ヲ被包ス、骰子骨ノ溝ハ、長蹠  
靱帶ヲ以テ、亦タ管ニ變成シテ、關節膜嚢ヲ有ス、  
短輔腿骨筋 アロルト、ムト、ペクロル子ハ、  
部、及ヒ其近傍ノ筋間膜ヨリ起リ、其腹長腱ト為リ  
テ、前筋ノ腱ト共ニ、外踝ノ後方ヲ下行シ、跟骨ノ  
外面ヲ過キ、終蹠骨ノ根蒂ニ附着ス、  
長短ノ兩輔腿骨筋ハ、足ヲシテ伸長セシム故ニ  
前輔腿骨筋、及ヒ前小腿骨筋ノ讐敵タリ、

脛後部諸筋

甲 ムスクルストリセ  
プス、ミレ、

乙 シラ

三頭腓筋 ヲト川、ムセ、クス、ミ、ハ、即チ三頭ヲ有シ、其腹

三箇ニシテ **腓腸** カルフ、オフ、ヲ造成ス而ノ其二

個ハ、表部ニ位シテ、腓腸筋ト云ヒ、其一箇ハ、二個

ノ底下ニ位シテ、履底筋ト云フ、

丙 ムスクルスガスト  
ロク子、ミ、ス、エキス  
テル、ミス、

**腓腸筋** ガスト、ムスト、ロク子ハ、腱状ニシテ、大腿骨兩髁

ノ直上ヨリ起リ、二個相接シテ下行シ、共ニ強剛

ナル **腱**ト為レリ、

丁 ムスクリスガスト  
ロク子、ミ、ス、井、ン、テ  
ル、ミス、

**履底筋** ムツ、スレ、ク、ウ、ル、ス、ハ、輔腿骨ノ頭、其全徑ノ上方一

半、膝脛筋ノ直下、即チ小腿骨ノ、斜線其數「イ、ン、チ」

下方、即チ小腿骨ノ内縁ヨリ起リ、其腹斜メニ下  
行シテ、**腱**ト為レリ、

此筋ノ**腱膜**ニ前筋ノ**腱膜**結合シテ、強韌ナル線

状**腱**ト成レリ、之ヲ **アキルス腱** アキド、ン、オ、ト云

ト下行シテ、跟骨結節ノ下部ニ附着ス而シテ、此**腱**

ト其結節トノ中間ニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、

以上ノ二筋ハ、跟骨ヲ牽引シテ、足ヲ趾上ニ舉上

セシム、即チ歩行スル時ニ於テ、然リ蓋シ童子等

常ニ踊跳シ、或ハ有力ノ運動ヲ為セハ、此筋ヲシ

テ増大セシム、

アキルス

ムスクルス、プラン  
タリス、

足蹠 ハ、 プラクナル、ハ、大腿骨ノ外髁ノ直上、及ヒ膝

關節ノ囊韌帶ノ近傍ヨリ起リ、其腹短ナレ、凡、 細

腱、延長シテ、前二筋ノ中間ニ達シ、乃チ「アキルス

腱」ノ内縁ヲ下行シテ、之ト共ニ跟骨ニ附着ス、蓋

シ此筋ハ、下臂ノ長掌筋ニ匹敵セリ、然レ、凡、 只々

或ル下等ノ動物ニ於テ、蹠莖膜ニ結合ス、

膝膈筋 ル、 ボ、 ム、 ス、 リ、 ク、 テ、 ル、 ハ、 膝關節ノ直下ノ後方ニ位

シ、凡、 腱ヲ以テ膝關節ノ外側韌帶ノ底下、即チ大腿

骨ノ外髁ノ外側ヨリ起リ、小腿骨ノ上部ノ三角

面ニ擴張シテ、茲ニ附着ス、蓋シ此筋ハ、半膜筋ノ

ムスクルス、ボプリ  
テウス、

ムスクルス、フレキ  
ソル、ロンクス、チキ  
トルム、

腱ニ結合セル、薄キ腱膜ニテ被包シ、且ツ其起點

ハ、膝關節ノ外半月状纖維軟骨ニ固着シ、膝

關節ノ關節膜ニテ覆ハレ、乃チ脛ヲシテ、屈曲シ

且ツ内轉セシム、

長諸趾屈筋 ル、 ロ、 ホ、 ノ、 ガ、 フ、 レ、 キ、 ソ、 ハ、 腓腸筋ニ覆ハレ

テ、膝膈筋ノ下方ニ位シ、而シテ、小腿骨ノ殆ト下端

ニ及フ、其全徑ヨリ起リ、其腹斜メニ進行シテ、腱

ト為リ、又々内踝ノ後方ヲ下行シテ、跟骨凹陥ノ

底面ニ、反轉シ、終ニ蹠ニ達セリ、此筋、長大趾屈筋

ノ腱ヨリ、延長ヲ受ケテ分裂シ、乃チ四個ノ腱ト

ムスクルス、フレキソル、ロングス、ポルシシス、エヂス、

ムスクルス、チビアリ、ス、ポ、ス、チ、モ、ス、

為リ、前方ニ進ミテ、短諸趾屈筋腱ノ孔中ヲ通過シ、大趾ノ他、終趾骨ノ根蒂ニ附着ス、

長大趾屈筋、フロレグ、レキ、トル、オ、前筋ノ外側ニ位シ、輔腿骨ノ下部ヨリ起リ、腱ト為リテ、内踝ノ後方ヨリ下行シ、跟骨ノ凹面ニ達シ、蹠ノ前方ニ及轉シ、長諸趾屈筋ノ腱ニ延長ヲ授ケ、而后チ進シテ、大趾ノ終趾骨ノ根蒂ニ附着ス、

後小腿骨筋、ポ、ス、アル、テ、リ、オ、ル、チ、ハ、前筋ノ中間ニ位シ、骨間膜ノ面、及ヒ小腿骨ト、輔腿骨トノ隣接縁ヨリ起リ、其束、腱ト為テ、内踝ノ後溝ヲ下行シ、

ムスクルス、フレキソル、ブレ、ウ、ス、デ、ト、リ、ユ、ム、ベ、チ、

ムスクル、ノ、レ、キ、ソ、ル、ア、セ、ッ、ソ、リ、エ、ス、マ、タ、ル、ア、セ、ッ、ソ、リ、エ、ス、フ、レ、キ、ソ、リ、エ、ス、ロ、ン、ギ、テ、ヂ、ト、ユ、ム、ベ、チ、

次ニ跟骨ノ底下ニ進ミ、舶様骨及第一跖骨ノ基礎ニ附着シ、作用ハ足跗ヲ伸展スルナリ

足蹠筋

短諸趾屈筋、ル、シ、ヨ、ル、ト、フ、レ、キ、ソ、ハ、足蹠筋及跟骨ノ内結節ヨリ起リ、筋莖ノ中部ヲ以テ蔽ハレ、前方ニ進ミ、四腓ニ終リ、長諸趾屈筋腱ノ通孔ヲ穿貫スルノ后、第二諸趾骨ノ基礎ニ附着ス

副屈筋、フ、レ、キ、ソ、リ、ハ、跟骨ノ凹陥及下部ヨリ起リ、長大趾屈筋ノ腱中ニ託雜ス、故ニ名稱ヲ以テ示ス、如ク恰モ其副頭ニ似タリ

マ スクル、ロ、ン、ブ、リ  
ケ、ル、ス、ベ、ヂ、ス

蟲様筋 ル、ロ、ン、マ、ス、ク、リ、カ、ハ、四、箇、ノ、筋、束、ニ、シ、テ、手、掌、ニ  
於ケル者ノ如シ長諸趾屈筋ノ腱ヨリ起リ前行  
シテ諸趾伸筋ノ腱及其第一趾骨ノ基礎ニ附着  
ス

マ スクル、ア、ブ、ド  
ク、ト、ル、ボ、ル、リ、シ  
ス、ベ、ヂ、ス

大趾外送筋 ビ、ア、ブ、ド、リ、ト、ト、ル、フ、ブ、ハ、足、趾、ノ、内、側、ニ  
占居セル諸筋中尤モ表層ニ在ル者ニシテ跟骨、  
舶様骨、内楔状骨及足趾筋莖ヨリ起リ前方ニ進  
ミ腱ト為リ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ附着ス

マ スクル、フ、レ、キ  
ル、ブ、レ、サ、ス、ホ  
ル、リ、シ、ス、又、ハ  
ル、リ、ユ、シ、ス、ベ、ヂ、ス

短大趾屈筋 フ、シ、ヨ、ル、ト、フ、レ、キ、ト、ル、ハ、一、對、ノ、筋、腹  
トナリ骰子骨及外方二箇ノ楔状骨ヨリ起リ前

マ スクル、ア、ッ、ド  
ク、ト、ル、ホ、ル、リ、シ  
ス、又、ハ、ル、リ、ユ、シ  
ス、ベ、ヂ、ス

マ スクル、タ、ラ、ン  
ス、ウ、ル、サ、リ、ス、  
又、タ、ラ、ン、ス、ウ、エ  
ル、シ、ユ、ス、ベ、ヂ、ス

方ニ進ミ腱様ニ為リ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ  
附着ス此二箇ノ筋腹間ニ長屈筋ノ腱ヲ狭ム  
大趾内送筋 ア、ッ、ド、ク、ト、ル、フ、ブ、ハ、骰、子、骨、及、第、三、第  
四趾骨ノ基礎ヨリ起リ腱様ニ為リ大趾ノ第一  
趾骨ノ基礎ニ附着ス  
横筋 タ、ラ、ン、ス、ク、ル、 數箇ノ筋束ヲ以テ第二、第三  
及第四趾骨ノ首頂ヨリ起リ腱様ニ為リ大趾ノ  
第一趾骨ノ基礎ニ附着ス  
七サハ骨ハ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ託着セル  
諸筋ノ腱中ニ包藏サレ其運用ノ間趾骨ノ頭上

甲  
マ ス ク ル ア ブ ド  
ク ト ル ミ ニ ミ、テ  
ジ チ、ペ ゴ ス

乙  
マ ス ク ル フ レ キ ヲ  
ル ミ ニ ミ、デ ジ チ、  
ペ ゴ ス

二 轉動ス

小趾外送筋 アブドクトル、アブドクトル、アブドクトル 跟骨ノ外結節、足蹠

筋莖及終季蹠骨ノ基礎ヨリ起リ前方ニ進ミ小

趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ附着ス

小趾屈筋 フレキソル、フレキソル、フレキソル ハ長足蹠靱帯及終季

蹠骨ノ基礎ヨリ起リ進テ小趾ノ第一趾骨ノ基

礎ニ附着ス

足背骨間筋 ドウルサル、ドウルサル、ドウルサル ハ蹠骨ノ中間

ニ位シ其數之ト應當シ其相對向セル側面ヨリ

起リ蹠縁為リ伸筋腱及中三趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ附着ス

第一足背骨間筋ハ第二趾ノ内側ニ附着シ内送

ノ作用ヲ為ス然ルニ餘筋ハ第二、第三、第四趾ノ

外側ニ附着シテ外送ノ作用ヲ為セリ

足蹠骨間筋 プラシユタル、プラシユタル、プラシユタル ハ其數三箇ニ

シテ外三蹠骨ノ間ニ位シ其内側面ヨリ起リ前

方ニ進ミ伸筋腱及同列三趾ノ第一趾骨ノ基礎

ニ附着シ此三趾ノ内送筋タリ

<p>一 謂骨之出三頰以內者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>二 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>三 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>四 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>五 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>六 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>七 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>八 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>九 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>十 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>十一 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>十二 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>十三 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>	<p>十四 謂骨之出頰足者謂之天骨其骨之出頰足者謂之天骨</p>
--	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

解剖訓蒙卷之七終

Blank page with a light purple rectangular border and faint vertical lines, suggesting a template for writing.



